

表-6. 19. 2. 1. 17 (2) 底質分析結果(汀間川)

河川名		汀間川												試験方法		
地点名		T-1				T-2				T-3						
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季			
強熱減量	%	3.0	1.8	1.8	2.1	4.3	2.8	2.5	3.1	3.7	2.1	3.0	2.3	底質調査方法* II-4		
粒度組成	粗礫	%	-	12.9	-	11.2	-	6.5	-	-	-	-	-		JIS A 1204	
	中礫	%	2.4	29.6	7.3	28.3	2.5	12.7	-	1.6	1.2	5.3	1.1			2.3
	細礫	%	4.5	18.7	12.1	19.5	3.1	13.2	0.8	3.0	4.6	12.2	4.7			4.2
	粗砂	%	5.2	13.5	8.7	14.1	5.3	13.3	5.4	5.2	10.0	24.3	6.9			7.1
	中砂	%	27.1	16.3	29.6	16.1	26.4	37.9	25.0	25.6	27.4	50.6	21.0			27.6
	細砂	%	52.1	6.0	27.2	6.7	45.0	8.3	41.7	34.5	41.9	4.6	35.4			40.7
	シルト分	%	7.1	3.0	13.8	2.3	13.4	5.2	21.3	26.9	12.1	3.0	26.7			14.9
粘土分	%	1.5	1.3		1.8	4.3	2.9	5.8	3.2	2.9	4.2		3.2			
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	301	100	190	210	519	76	200	620	369	300	490	310	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部		
COD	mg/g	11	3.7	3.7	3.8	14	4.4	10.0	15.0	9.5	1.7	6.5	5.0	底質調査方法* II-20		
硫化物	mg/g	0.06	<0.01	0.01	0.01	0.07	<0.01	0.03	0.03	0.04	<0.01	0.02	0.05	底質調査方法* II-17		
含水比	%	30.2	24.0	21.3	20.9	35.5	24.8	22.7	26.8	26.3	24.9	22.3	20.1	底質調査方法* II-20		
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.591	2.698	2.625	2.634	2.615	2.672	2.647	2.600	2.621	2.664	2.641	2.627	JIS A 1202		

注)底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (3) 底質分析結果(オー川)

河川名		オー川												試験方法		
地点名		KO-1				KO-2				KO-3						
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季			
強熱減量	%	5.1	3.9	3.8	3.8	7.4	6.3	6.2	4.2	5.7	3.4	3.4	4.1	底質調査方法* II-4		
粒度組成	粗礫	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		JIS A 1204	
	中礫	%	3.1	3.6	-	7.0	6.6	9.4	-	3.2	1.1	1.3	-			0.9
	細礫	%	4.1	5.4	5.0	5.9	12.6	7.3	-	6.7	4.3	3.2	-			3.2
	粗砂	%	4.5	6.2	6.9	5.5	7.0	6.3	16.6	11.9	5.9	7.4	4.2			5.8
	中砂	%	14.6	13.4	16.5	13.7	19.7	9.2	21.3	20.8	18.5	14.6	8.9			9.8
	細砂	%	50.1	34.9	33.9	34.5	40.6	25.8	20.5	28.3	55.8	45.5	41.1			41.5
	シルト分	%	16.2	24.0	31.9	32.1	10.4	27.8	36.6	25.7	10.9	18.4	41.0			32.0
粘土分	%	7.4	12.5	5.8	1.3	3.3	14.2	5.0	3.4	3.5	9.6	4.8	6.8			
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	747	730	730	600	985	740	1100	680	1000	580	600	700	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部		
COD	mg/g	18	10	10.0	20.0	28	14	21.0	22.0	13.0	7.8	6.7	9.0	底質調査方法* II-20		
硫化物	mg/g	0.02	0.07	0.22	0.06	0.02	0.07	0.19	0.10	0.05	0.28	0.13	0.06	底質調査方法* II-17		
含水比	%	43.6	39.2	27.9	29.8	52.1	69.1	39.8	31.6	40.1	31.8	22.2	26.5	底質調査方法* II-20		
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.601	2.636	2.580	2.351	2.595	2.599	2.510	2.455	2.616	2.658	2.645	2.575	JIS A 1202		

注)底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (4) 底質分析結果(松田慶武原川)

河川名		松田慶武原川												試験方法	
地点名		Ki-1				Ki-2				Ki-3					
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
強熱減量	%	8.3	5.9	6.3	2.5	7.0	7.4	5.0	6.3	4.6	4.3	4.6	7.3	底質調査方法* II-4	
粒度組成	粗礫	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	JIS A 1204	
	中礫	%	1.8	5.4	-	8.9	2.2	2.4	-	-	1.4	0.6	-		0.8
	細礫	%	2.0	3.4	-	14.5	3.2	3.6	-	0.5	3.2	0.7	2.5		3.5
	粗砂	%	2.9	3.5	0.8	20.4	3.9	5.5	5.4	0.6	3.3	1.8	8.3		4.8
	中砂	%	33.2	9.0	8.3	29.7	26.7	15.4	10.3	5.6	20.1	13.9	17.0		10.8
	細砂	%	45.0	28.5	35.4	14.1	46.4	27.4	31.8	38.8	56.6	51.7	41.9		39.0
	シルト分	%	13.2	33.3	45.1	8.2	14.7	30.3	43.9	50.5	13.0	20.8	21.5		37.3
粘土分	%	1.9	16.9	10.4	4.2	3.0	15.4	8.6	4.0	2.6	10.5	8.8	3.8		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	577	910	940	380	810	880	940	980	568	510	870	870	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部	
COD	mg/g	42	13	22	11	27	16	10	36	20	12	13	46	底質調査方法* II-20	
硫化物	mg/g	0.65	0.19	0.21	0.08	0.10	0.32	0.29	0.18	0.03	0.17	0.12	0.09	底質調査方法* II-17	
含水比	%	66.7	50.9	36.5	23.5	55.7	78.1	31.7	42.5	42.5	46.6	28.2	41.9	底質調査方法* II-20	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.572	2.626	2.585	2.625	2.604	2.704	2.596	2.487	2.612	2.651	2.560	2.406	JIS A 1202	

注)底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (5) 底質分析結果(宜野座福地川)

河川名		宜野座福地川												試験方法	
地点名		F-1				F-2				F-3					
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
強熱減量	%	5.7	4.5	2.1	5.6	5.6	5.0	3.5	4.0	4.6	2.3	2.6	3.6	底質調査方法* II-4	
粒度組成	粗礫	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	JIS A 1204	
	中礫	%	16.6	31.1	6.0	3.7	9.7	9.7	5.1	5.3	1.8	13.8	-		1.6
	細礫	%	16.1	15.2	14.4	5.9	12.0	10.4	9.5	6.1	5.6	12.3	1.0		4.9
	粗砂	%	11.0	7.6	16.4	4.1	16.6	11.4	14.6	16.6	13.8	14.0	3.6		11.6
	中砂	%	19.1	8.8	16.0	10.3	22.5	17.5	18.1	20.3	45.8	30.9	15.1		31.6
	細砂	%	28.0	12.2	29.1	32.1	26.9	15.2	27.2	17.5	25.0	13.9	47.9		21.7
	シルト分	%	7.2	16.6	15.4	36.5	10.4	24.1	19.5	29.5	6.5	10.5	28.4		22.0
粘土分	%	2.0	8.5	2.7	7.4	1.9	11.7	6.0	4.7	1.6	4.6	4.0	6.6		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	719	830	700	900	767	1100	940	1100	584	660	680	1300	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部	
COD	mg/g	25	11.2	6.3	36.0	21	10.8	11.0	16.0	7.5	5.0	2.4	7.2	底質調査方法* II-20	
硫化物	mg/g	0.06	0.15	0.03	0.07	0.06	0.04	0.08	0.04	0.07	<0.01	0.23	0.05	底質調査方法* II-17	
含水比	%	52.1	50.3	18.3	32.5	43.6	42.4	24.5	27.3	34.8	24.1	21.1	24.1	底質調査方法* II-20	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.591	2.605	2.626	2.579	2.586	2.676	2.602	2.483	2.603	2.654	2.654	2.611	JIS A 1202	




注)底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

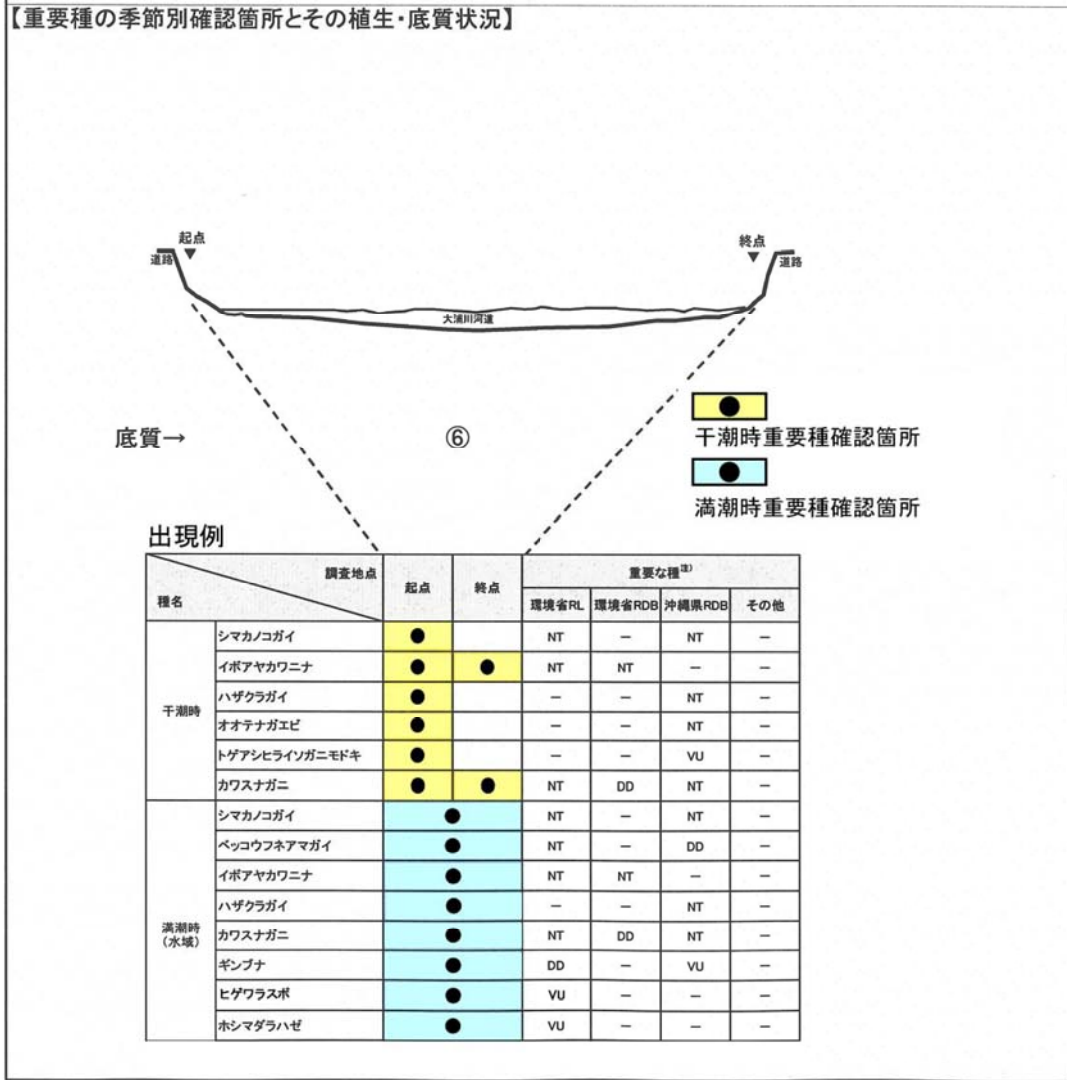






測線名	大浦川マングローブ林 地点1							
該当箇所	河川区域 マングローブ域の上流側							
植生・底質マトリックス	植生高	低	← 高				凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。   当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  当該測線で確認した植生・底質タイプ  調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林				オヒルギ亜高木林 (発達林分)
	底質		含む メヒルギ ヤマガ マヒルギ 低木林	メヒルギ ヤマガ 高木林	オヒルギ ヤマガ 高木林	オヒルギ ヤマガ 高木林		オヒルギ ヤマガ 高木林
	①泥							
	②砂礫含む泥							
	③砂泥							
	④砂							
⑤小礫含む砂								
⑥砂礫								

環境情報図



注) 環境省 RL :  
 環境省版レッドリスト[8]その他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)  
 環境省版レッドリスト[5]汽水・淡水魚類・[7]貝類 (環境省 2007)  
 沖縄県 RDB :  
 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ  
 (沖縄県 2005)  
 (略号)は以下のとおり。  
 CR+EN : 絶滅危惧 I 類 (CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 IB 類)、VU : 絶滅危惧 II 類  
 NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体  
 資料 : 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局  
 図-6.19.2.1.15 (1) マングローブ林の地点別環境情報図(大浦川:地点1)

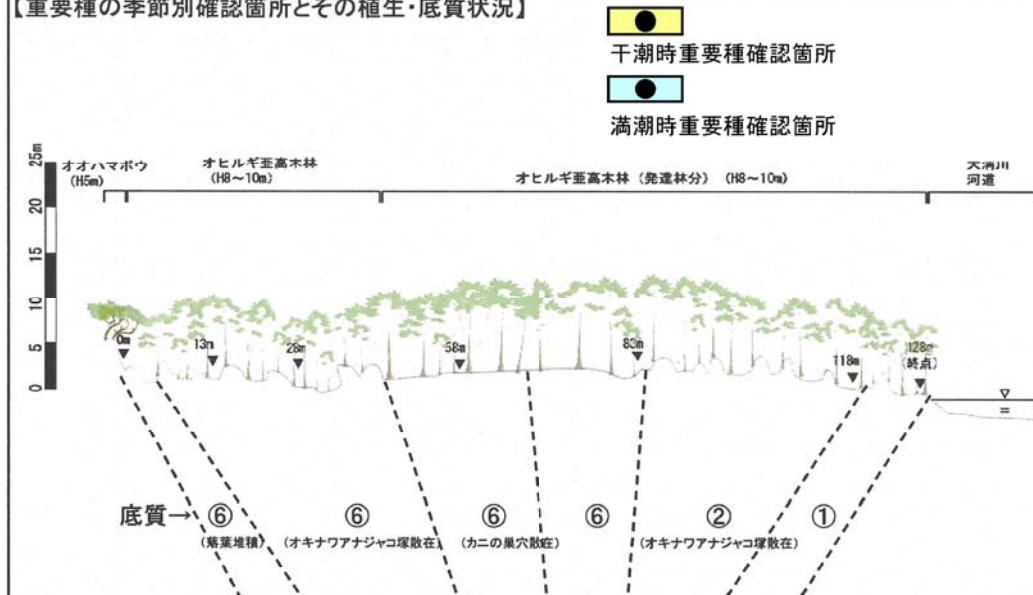
測線名	大浦川マングローブ林 地点2-1						
該当箇所	マングローブ域 上流部						
植生・底質マトリックス	植生高	低	← マングローブ林 →				高
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林			オヒルギ亜高木林 (発達林分)
	底質			含む (ヤエヤマヒルギ低木林)	メヒルギ低木林	メヒルギ亜高木林	オヒルギ亜高木林
	①泥						
	②砂礫含む泥						
	③砂泥						
	④砂						
⑤小礫含む砂							
⑥砂礫							

凡例

- マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。
- 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ
- 当該測線で確認した植生・底質タイプ
- 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	起点	13m	28m	58m	83m	118m	終点	重要な種 <sup>注)</sup>			
									環境省RL	環境省RDB	沖縄県RDB	その他
干潮時	ナガオカミミガイ			●					NT	-	-	-
	カタシノミミガイ		●	●	●	●			CR+EN	-	-	-
	ウラシマミミガイ		●	●	●				NT	-	-	-
	ヌノハマシノミガイ			●		●			NT	-	-	-
	トリコハマシノミガイ		●						CR+EN	-	-	-
	クロヒラシノミガイ		●	●					NT	-	-	-
	タイワンヒルギシジミ	●							VU	-	NT	-
満潮時 (水域)	ヒロクチカノコガイ				●				VU	-	-	-
	ナガオカミミガイ				●				NT	-	-	-
	カタシノミミガイ				●				CR+EN	-	-	-
	クロヒラシノミガイ				●				NT	-	-	-

注) 環境省 RL :

環境省版レッドリスト[8] 其他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)

環境省版レッドリスト[5] 汽水・淡水魚類・[7] 貝類 (環境省 2007)

沖縄県 RDB :

改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ (沖縄県 2005)

(略号)は以下のとおり。

CR+EN : 絶滅危惧 I 類 (CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 IB 類)、VU : 絶滅危惧 II 類

NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体

資料 : 「シュワブ (H18) 環境現況調査(その4) 報告書」平成 20 年 10 月、沖縄防衛局

図-6. 19. 2. 1. 15 (2) マングローブ林の地点別環境情報図(大浦川 : 地点 2-1)

測線名	大浦川マングロープ林 地点2-2	
該当箇所	マングロープ域 中流部	
植生・底質マトリックス	植生高	低 ← → 高
	植生区分	低 裸地(水位変動域)
	底質	ソナレムグラ群落
		マングロープ林
		オヒルギ亜高木林
		メヒルギ低木林
		メヒルギ亜高木林
①泥		
②砂礫含む泥		
③砂泥		
④砂		
⑤小礫含む砂		
⑥砂礫		

凡例

・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングロープ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。

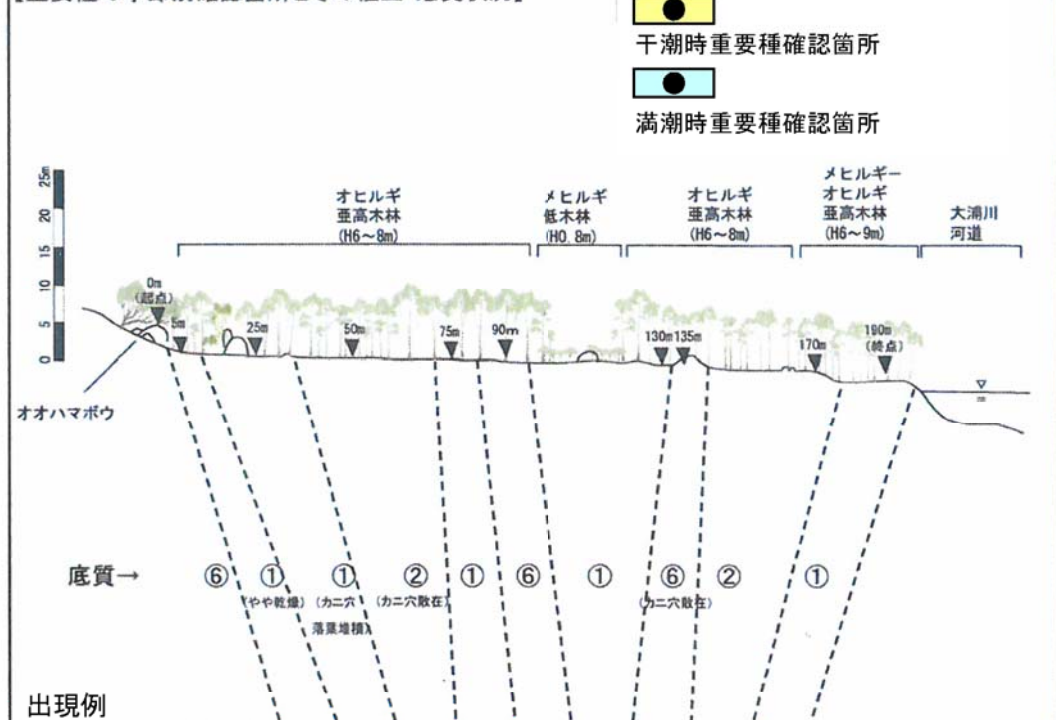
□ (点線) 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ

■ (緑) 当該測線で確認した植生・底質タイプ

■ (灰) 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】






種名	調査地点	起点	5m	25m	50m	75m	90m	130m	135m	170m	終点	重要な種 <sup>注)</sup>				
												環境省RL	環境省RDB	沖縄県RDB	その他	
アラハダカノコ		●											-	-	VU	-
シマカノガイ		●	●										NT	-	NT	-
マドモチウミナ					●	●	●	●					VU	-	NT	-
ナガオカニガイ				●									NT	-	-	-
カタシノミミガイ		●	●	●	●	●	●	●		●			CR+EN	-	-	-
ウラシマミガイ		●	●	●	●	●	●	●		●			NT	-	-	-
クロヒラシノミガイ		●	●	●									NT	-	-	-
マダラヒラシノミガイ									●				NT	-	-	-
チゴイワガニ							●				●		-	-	NT	-
満潮時(水域)																

注) 環境省 RL : 環境省版レッドリスト[8]その他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)  
 環境省版レッドリスト[5]汽水・淡水魚類・[7]貝類 (環境省 2007)  
 沖縄県 RDB : 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ(沖縄県 2005)  
 (略号)は以下のとおり。  
 CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

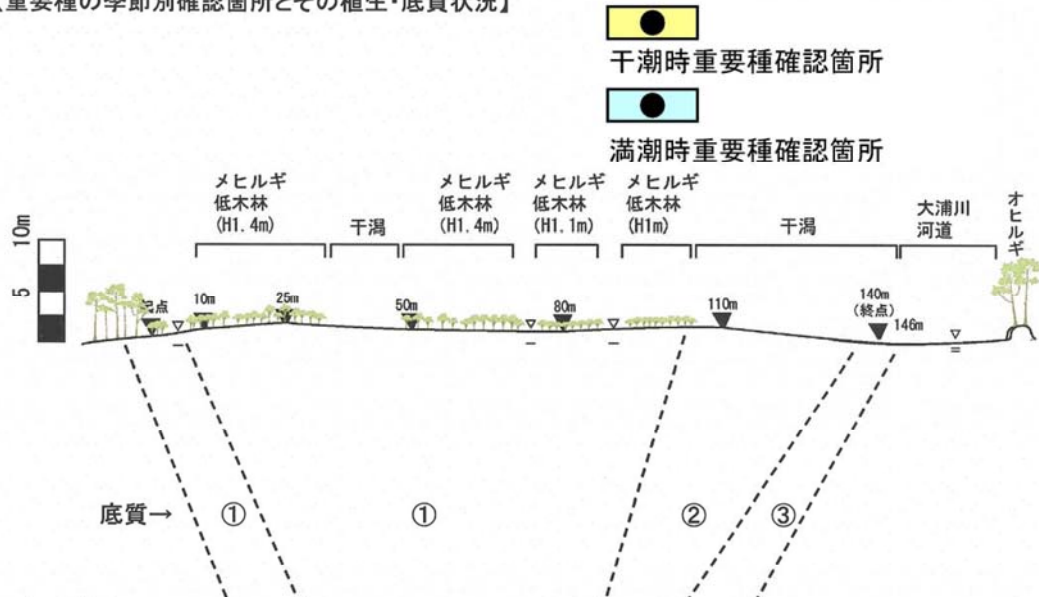
資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局  
 図-6.19.2.1.15 (3) マングロープ林の地点別環境情報図(大浦川: 地点2-2)



測線名	大浦川マングローブ林 地点2-3								
該当箇所	マングローブ域 下流部								
植生・底質マトリックス	植生高	← 低 → 高 →					凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。  当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  当該測線で確認した植生・底質タイプ  調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分		
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林				オヒルギ (発達林分)	
	底質			メヒルギ 低木林 (ヤエヤマヒルギ 含む)	メヒルギ 亜高木林	オヒルギ 低木林 (ヤエヤマヒルギ 含む)		オヒルギ 亜高木林	オヒルギ 高木林
	①泥								
	②砂礫含む泥								
	③砂泥								
	④砂								
⑤小礫含む砂									
⑥砂礫									

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	起点	10m	25m	50m	80m	110m	終点	重要な種 <sup>注)</sup>			
									環境省RL	環境省RDB	沖縄県RDB	その他
干潮時	コゲツノブエ				●		●	●	VU	-	NT	-
	ヘナタリ						●	●	NT	-	NT	-
	カワアイ	●		●	●	●	●		VU	-	NT	-
	マドモチウミニナ			●		●	●		VU	-	NT	-
	イロタマキビ	●							NT	-	NT	-
	イチョウシラトリ				●		●		-	-	NT	-
	ハザクラガイ	●						●	-	-	NT	-
	タイワンヒルギシジミ							●	VU	-	NT	-
	チゴイワガニ		●	●					-	-	NT	-
	カワスナガニ	●						●	NT	DD	NT	-
	ヒゲワラスボ	●							VU	-	-	-
	満潮時 (水域)											

注) 環境省 RL :

環境省版レッドリスト[8] 其他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)

環境省版レッドリスト[5] 汽水・淡水魚類・[7] 貝類 (環境省 2007)

沖縄県 RDB :

改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ (沖縄県 2005)

(略号)は以下のとおり。

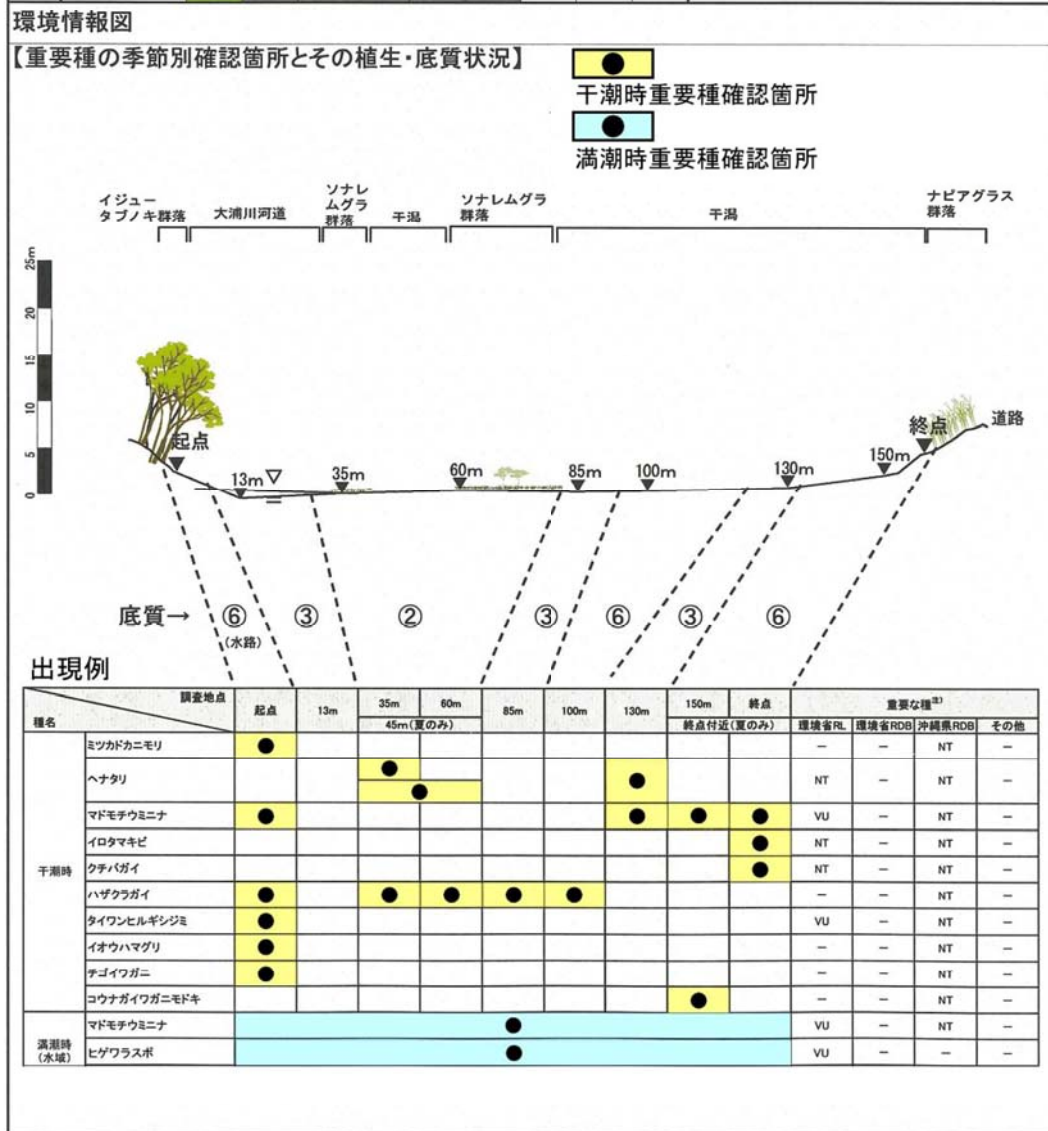
CR+EN : 絶滅危惧 I 類 (CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 IB 類)、VU : 絶滅危惧 II 類

NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体

資料 : 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.15 (4) マングローブ林の地点別環境情報図(大浦川: 地点2-3)

測線名	大浦川マングローブ林 地点3											
該当箇所	河川区域 マングローブ域の下流側											
植生・底質マトリックス	植生高	低 ← → 高										
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林						オヒルギ亜高木林	オヒルギ亜高木林	オヒルギ亜高木林
	底質	①泥										
		②砂礫含む泥										
		③砂泥										
		④砂										
		⑤小礫含む砂										
⑥砂礫												
凡例	<p>・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。</p> <p>① 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ</p> <p>② 当該測線で確認した植生・底質タイプ</p> <p>③ 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分</p>											



注) 環境省 RL :

環境省版レッドリスト[8] 其他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)

環境省版レッドリスト[5] 汽水・淡水魚類・[7] 貝類 (環境省 2007)

沖縄県 RDB :

改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ(沖縄県 2005)

(略号)は以下のとおり。

CR+EN : 絶滅危惧 I 類 (CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 IB 類)、VU : 絶滅危惧 II 類

NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体

資料 : 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.15 (5) マングローブ林の地点別環境情報図(大浦川:地点3)

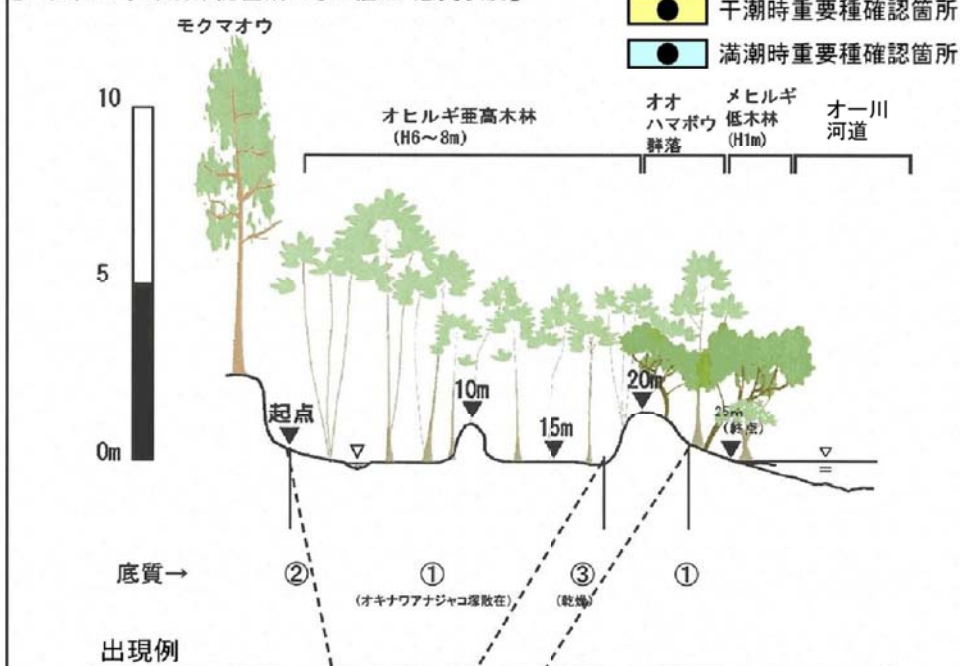
測線名	オー川マングローブ林 地点1					
該当箇所	マングローブ域 上流部					
植生・底質マトリックス	植生高	低	←-----→			高
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグ ラ群落	マングローブ林		
			含む メヒルギ ヤマヒル ギ低木 林	メヒルギ 亜高木 林	オヒルギ 亜高木 林	オヒルギ 亜高木 林
	底質					オヒルギ 亜高木 林
	①泥					
	②砂礫含む泥					
	③砂泥					
④砂						
⑤小礫含む砂						
⑥砂礫						

凡例

- ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。
- 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ
- 当該測線で確認した植生・底質タイプ
- 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	起点	15m	20m	終点	重要な種 <sup>(*)</sup>			
						環境省RL	環境省RDB	沖縄県RDB	その他
干潮時	ヒロクチカノコガイ	●	●			VU	-	-	-
	カタシノミミミガイ	●	●	●		CR+EN	-	-	-
	ウラシマミミガイ	●	●			NT	-	-	-
	ヌノメハマシノミガイ			●		NT	-	-	-
	クロヒラシノミガイ	●	●	●		NT	-	-	-
	タイワンヒルギシジミ				●	VU	-	NT	-
	テゴイワガニ				●	-	-	NT	-
満潮時 (水域)	ヒメアシハラガニモドキ	●				-	-	NT	-
	テゴイワガニ			●		-	-	NT	-
	クサフグ		●			LP	-	LP	-

注) 環境省 RL :

環境省版レッドリスト[8] 其他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)

環境省版レッドリスト[5] 汽水・淡水魚類・[7] 貝類 (環境省 2007)

沖縄県 RDB :

改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ (沖縄県 2005)



(略号)は以下のとおり。

CR+EN : 絶滅危惧 I 類(CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 IB 類)、VU : 絶滅危惧 II 類

NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体

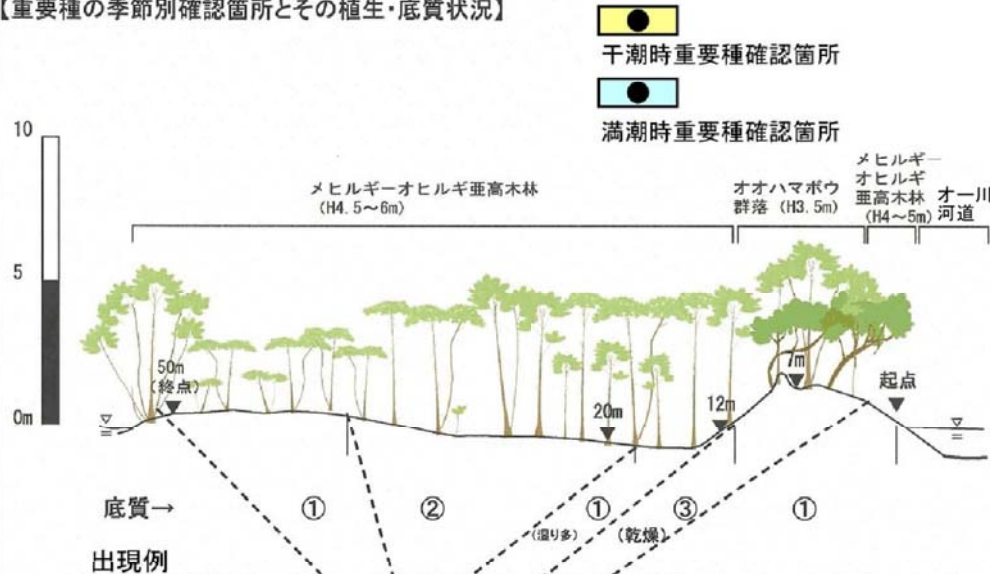
資料 : 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.16 (1) マングローブ林の地点別環境情報図(オー川 : 地点1)

測線名	オー川マングローブ林 地点2							
該当箇所	マングローブ域 中流部							
植生・底質マトリックス	植生高	← 低 → 高 →					凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。   当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  当該測線で確認した植生・底質タイプ  調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林				オヒルギ亜高木林 (発達林分)
	底質			含メヒルギ メヒルギ ヤエヤ 低木林	メヒルギ 亜高木林	オヒルギ 亜高木林		オヒルギ 亜高木林
	①泥							
	②砂礫含む泥							
	③砂泥							
	④砂							
	⑤小礫含む砂							
⑥砂礫								

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	終点	20m	12m	7m	起点	重要な種 <sup>(注)</sup>			
							環境省RL	環境省RDB	沖縄県RDB	その他
ヒロクチカノコガイ			●	●			VU	-	-	-
マドモテウミニナ	●			●	●	●	VU	-	NT	-
カタシノミミガイ				●	●	●	CR+EN	-	-	-
ウラシマミミガイ			●	●	●	●	NT	-	-	-
ヌメハマシノミガイ				●			NT	-	-	-
チビハマシノミガイ				●			NT	-	-	-
クロヒラシノミガイ			●				NT	-	-	-
タイワンヒルギシジミ			●			●	VU	-	NT	-
チゴイワガニ	●			●			-	-	NT	-
ヒゲワラスボ	●						VU	-	-	-
マドモテウミニナ				●			VU	-	NT	-
イロタマキビ				●			NT	-	NT	-
チゴイワガニ				●			-	-	NT	-
ヒラモクスガニ				●			-	DD	NT	-
クサフグ				●			LP	-	LP	-

注) 環境省 RL :

環境省版レッドリスト[8] 其他無脊椎動物(クモ形類、甲殻類等) (環境省 2006)

環境省版レッドリスト[5] 汽水・淡水魚類・[7] 貝類 (環境省 2007)

沖縄県 RDB :

改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ(沖縄県 2005)

(略号)は以下のとおり。

CR+EN : 絶滅危惧 I 類(CR : 絶滅危惧 IA 類、EN : 絶滅危惧 IB 類)、VU : 絶滅危惧 II 類

NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体

資料 : 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.16 (2) マングローブ林の地点別環境情報図(オー川 : 地点2)

